安全データシート（ＳＤＳ）

作成日 : 2026 年 01 月 13 日

１．製品及び会社情報

製品

製品名	ボーソーシール T-SW

会社情報

会社名	シンレキ工業株式会社
住所	〒 144 - 0052　東京都大田区蒲田 5 丁目 44 番 5 号
緊急連絡先	中央研究所
電話番号	044 - 366 - 1617
FAX 番号	044 - 366 - 1618

推奨用途及び使用上の制限

・新設、打ち換え工事等の防草材として使用。（業務用）

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
皮膚感作性	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（単回曝露）	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（反復曝露）	区分に該当しない
環境に対する有害性	
短期（急性）水生環境有害性	区分３
長期（慢性）水生環境有害性	区分３

※ 記載が無いものは分類対象外又は分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル

非該当

危険有害性情報

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

〔安全対策〕

・使用前安全データシート（SDS）を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・保護手袋を着用すること。粉塵、煙、ガス、ミストを吸入しないこと。
・この製品を使用する前に、飲食または喫煙をしないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。

・環境への放出を避けること

〔**応急処置**〕

・飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激、発疹が生じた場合、医師の診察・手当を受けること。

〔**保管**〕

・「**7．取扱い及び保管上の注意**」を参照。

〔**廃棄**〕

・内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って適正に廃棄すること。

3．組成及び成分情報

単一化学物質･混合物の区別	・合成ゴム、合成樹脂および配合薬品の混合物	
化学名又は一般名	・アスファルト系防草材	
化学式	・特定できない	
成分及び含有量	・① 未加硫ブチルゴム等	73.3 %
	・② カーボンブラック	9.1 %
	・③ 鉱油	5.3 %
	・④ 酸化亜鉛	0.5 %
	・⑤ 防根剤	0.7 %
CAS 番号	・① 9010 - 85 - 9　② 1333-86-4　③なし　④ 1314-13-2　⑤非公開	
官報公示整理番号（化審法）	・① 6 - 764　② 該当しない　③なし ④ 1-561　⑤非公開	
（安衛法）	・① 312、②、③、④、⑤ 化審法を準用	

4．応急措置

吸入した場合

・固形物につき該当しないが、この製品を加熱、燃焼し発生したガスを吸入した場合は、すぐに通風の良い新鮮な空気の場所に移動すること。もし、呼吸器官に炎症を感じたら、すぐに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

・多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激、発疹が生じた場合、医師の診察・手当を受けること

眼に入った場合

・直ちに多量の水で 15 分以上洗浄すること。刺激が強まったり、続いたりする場合には医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

・多量の水などを飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受けること。吐き出すことが困難な場合は、無理に吐かせてはならない。

最も重要な徴候及び症状

・現在のところ有用な情報なし。

応急措置をする者の保護

・現在のところ有用な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

・現在のところ有用な情報なし。

5．火災時の措置

消火剤

・水、ABC 粉末消火剤、粉末炭酸消火剤、泡消火剤の消火剤が有効である。

使ってはならない消火剤

・棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。

特有の危険有害性

・燃焼の際は、一酸化炭素等の有毒ガスが生成されるおそれがある。

消火方法

・状況に応じて消火用防毒マスク・防火服を着用し、注水、水噴霧、ABC 消火器、泡消火器等を使用すること。

・不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素、窒素酸化物、その他有毒ガスが発生する可能性があり、吸入による危険性が考えられるため、状況に応じて適切な保護具を着用すること。

消火を行う者の保護

・消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

・消火作業を行う者は、空気呼吸器等の保護具を着用し、酸素欠乏及び有害ガスから身を守ること。

・消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器(SCBA)を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

・作業の際には、保護具を着用する。

環境に対する注意事項

・河川、下水道等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないように注意する。万一、公共水域へ流出した場合は、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁へ届け出ること。

回収、中和

・飛散したものを掃き集め適当な容器に回収する。

二次災害の防止策

・漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

・周囲の着火源を取り除き、消火用器材を準備する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

・作業場の整理整頓に努め、火気をみだりに使用しない。

・作業により飛散や揮発成分が揮発する可能性がある場合、排気（局所排気含む）の実施及び、防護マスクを着用すること。また、静電気を除去するための対策（除電装置など）を行うこと。

・作業後、喫煙・飲食をする場合は手をよく洗い、うがいを十分に行ってからすること。

局所排気・全体換気

・「**8．暴露防止及び保護措置**」を参照。

注意事項

・当社製品であるボーソーボンドを使用する際は、熱、火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。

接触回避

・「**１０．安定性及び反応性**」を参照。

安全取扱い注意事項

・プライマーを使用し、施工すること。

保管

技術的対策

・製品の品質を確保するため、屋外保管を避け、涼しい乾燥した場所を選び、高温、高湿、直射日光、水濡れを避けること。なお、屋内保管に際しても白熱灯、水銀灯など紫外線を出す照明を避けること。

・消防法上の「指定可燃物」となり、3000 kg以上保管する場合は、消防当局への届け出が必要になる。市町村条例に従って保管すること。

・消防法の指定可燃物であるので、みだりに近くで火気を使用しないこと。

混触禁止物質

・「**7．取扱い及び保管上の注意**」及び「**１０．安定性及び反応性**」を参照。

保管条件

・湿気を避け雨等の当たらない屋内倉庫に保管すること。

・容器を密閉し、保管場所に施錠すること。

容器包装材料

・製品使用容器に準ずる。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策

・作業場には、全体または局所排気装置を設ける。

・取扱場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度

・製品に対する有用な情報なし。

許容濃度

・製品に対する有用な情報なし。

保護具

呼吸器の保護具

・状況に応じて、防毒マスク（有機ガス用）等を着用する。

手の保護具

・状況に応じて、耐油性型の保護手袋等を着用する。

眼の保護具

・状況に応じて、保護眼鏡等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

・状況に応じて、耐油性型の長袖作業着等を着用する。

衛生対策

・取扱い後はよく手を洗うこと。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	黒色粘着テープ
臭い	微臭あり
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	本製品は可燃性の固体である。製品自体が引火性のある物質ではないが、高温加熱時に、製品成分中のオイル分がガス状となり、200℃以上で引火する可能性がある。また、高温加熱分解時、可燃性ガスが発生する可能性がある。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重（相対密度）	1.45 ± 0.05
溶解度	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	220 ℃以上

１０．安定性及び反応性

安定性

・常温で暗所に貯蔵、保管された場合は、安定である。

危険有害反応可能性

・製品に対する有用な情報なし。

避けるべき条件

・日光、熱

混触危険物質

・製品に対する有用な情報なし。

危険有害な燃焼生成物

・炭化水素類、一酸化炭素、窒素酸化物。

１１．有害性情報

急性毒性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

※分類できないが、以下の有害性のある成分を含んでいる。

急性毒性(経口)　ラット　LD 50　2,000 mg/kg 以上（防根剤の成分情報）

急性毒性(経皮)　ラット　LD 50　2,000 mg/kg 以上（防根剤の成分情報）

急性毒性（吸入）　LC0 (ラット): > 2.13 mg/l　4 h　試験環境: ダスト/噴霧

皮膚腐食性・刺激性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

・皮膚刺激性はウサギで刺激性なし。（防根剤の成分情報）[a)]

眼に対する重篤な損傷・刺激性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

・眼への刺激性はウサギで刺激性なし。（防根剤の成分情報）[a)]

呼吸器感作性又は皮膚感作性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

・皮膚感作性はモルモットで感作性なし。（防根剤の成分情報）[a)]

生殖細胞変異原性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

誤えん有害性

・利用可能な情報に基づく限り分類できない。

１２．環境影響情報

生態毒性

・製品に対する有用な情報なし。

・微生物毒性　　EC 50　1,000 mg/L 以上　（OECD209 = ISO DP8192　活性汚泥による呼吸阻害試験）

・藻類に対する毒性　ErC50 (Desmodesmus subspicatus（セネデスムス・サブスピカトゥス）): > 100 mg/l　曝露時間: 72 h

・ミジンコ毒性　　EC0 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l　曝露時間: 48 h

・魚毒性　　LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 20 mg/l　曝露時間: 96 h

・防根剤 1 %を含有するビチューメン 400 g を 1 リットルの水中に入れて 7 日間テストした結果、有害性は認められなかった。（防根剤の成分情報）[a)]

残留性・分解性

・易分解性ではない。生分解: 19 %　曝露時間: 28 日

生体蓄積性

・製品に対する有用な情報なし。

土壌中の移動性

・製品に対する有用な情報なし。

オゾン層への有害性

・非該当

１３．廃棄上の注意

・製品は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）第 2 条４－１及び同施行令第 2 条 5 により、「ゴムくず」は産業廃棄物に指定されている。同施行令第 6 条 3 に従い、自らがゴムくずの埋め立て処分を行う場合には、あらかじめ最大径をおおむね 15 ㎝いかに破砕、もしくは切断し、または自らが焼却設備を用いて焼却し埋め立てること。または、産業廃棄物御者に委託すること。

・容器包材は、適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従うこと。または、産業廃棄物業者に委託すること。

・投棄禁止。

・その他、関係法令の定めるところに従う。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号	・非該当
品名	・非該当
国連分類	・国連分類に該当せず
容器等級	・非該当
海洋汚染物質	・非該当

国内規制

・下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規制に従った容器、積載方法により輸送する。

陸上	消防法	・指定可燃物　合成樹脂（その他のもの）
海上	船舶安全法	・非危険物
航空	航空法	・非危険物

安全対策

・異物の混入、水濡れ、荷崩れしないよう取り扱いに注意し、かつ、直射日光を避けるためのカバーシートなどをかけたうえで輸送すること。

１５．適用法令

特化則	非該当
有機則	非該当
通知対象物	カーボンブラック 鉱油 酸化亜鉛
表示対象物	カーボンブラック 鉱油
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当
消防法	ブチルゴム：指定可燃物　合成樹脂類 その他のもの（3,000 kg 以上の場合）
船舶安全法・危規則	非該当
航空法・施行規則	非該当
火薬類取締法	非該当

高圧ガス保安法	非該当
海洋汚染防止法	非該当

１６．その他の情報

参考資料

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 – ラベル、作業場内の表示および安全データシート（SDS）JIS Z 7253 : 2019

化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（平成 24 年 10 月）

製品評価技術基盤機構（NITE）

a）安全データシート（原料メーカー）

記載内容の取扱い

・安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。取扱う業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

・すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをおすすめします。なお、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

記載内容の問い合わせ先

・担当部門	シンレキ工業株式会社　中央研究所
・住所	〒 210 - 0867　神奈川県川崎市川崎区扇町 6 番 2 号
・電話番号	044 - 366 - 1617
・FAX 番号	044 - 366 - 1618
・メールアドレス	kenkyu@shinreki.co.jp
・受付日時	月曜日 ～ 金曜日（祝日は休業）　8 : 30 ～ 17 : 30